

# 多世代交流・健康増進拠点施設整備基本設計策定に係る サウンディング型市場調査の結果概要について

## 1 対話期間

令和2年12月21日(月)から12月23日(水)まで

## 2 参加事業者数

4事業者

## 3 御意見・御提案の概要(参加事業者から公開の御了解をいただいた範囲で公開いたします。)

《A社》 施設運営への関心:なし

本事業者からは、健康増進やボディメイクが老若男女問わず一大ムーブメントになっていることや、ホスピタリティあふれる併設施設を備えた複合型温浴施設(所謂スーパー銭湯)が多世代交流拠点となっていること、さらに、サイクリング、ハイキング、トレッキングなどの参加・体験型の健康増進活動の拡がりなどを踏まえ、こうしたニーズを取り込んだ施設・運営を実施することで、交流施設としての機能が高まると共に、定住者、来訪者の増加につながる可能性が高いといった御意見をいただきました。

また、湯田温泉の持つ高いポテンシャルを活かした温浴施設を核とした施設計画、一体的な(一棟での)施設計画が望ましいといった御提案をいただきました。

さらに、半屋外の多目的スペースについては、時代によって求められるイベントが変わってくるため、そういったことに対応した戦略が必要であり、日常的に利用できる施設とすることで施設への愛着が生まれ、来訪者の増加につながるのではないかとといった御意見もいただきました。

《B社》 施設運営への関心:あり

本事業者からは、施設で提供するサービスや、展開するイベントアイデアを中心とした御提案をいただきました。

施設で提供するサービスとして、施設で開催するイベント参加者や温泉の利用者に対し、周辺の飲食店やホテル利用割引といったサービスや、家族人数に応じたパック料金、年間パスポート(市内、市外、県外で料金設定)の導入などの検討について御提案をいただきました。

また、イベントアイデアとして、交流機能におけるキッチンカー、マルシェなどのイベント、県央部特産品を集めた物産展、日本酒利き酒会などの開催、地元プロスポーツクラブのファン感謝祭等の交流イベントの開催について御提案をいただきました。

さらに、周辺の飲食店へ波及効果をもたらすような、食のイベントやスタンプラリーの開催、周辺の飲食店の最新情報を発信するデジタルサイネージの設置についても御提案をいただきました。

また、会議室としての利用を想定する場合、リモート会議等で必要となるプロジェクター、集音マイクなどの貸出機材、Wi-fi 環境があるとよいといった御意見もいただきました。

《C社》 施設運営への関心:あり

本事業者からは、温浴機能を活用した健康増進事業や、バリアフリー対応の浴槽の設置、交流機能にお

けるイベントアイデア等について御提案をいただきました。

まず、温浴機能については、市民の健康寿命の延伸に寄与し、また、民間事業者では展開が難しい、車椅子の方が入浴できる浴槽の設置や温泉の効能を生かした健康増進プログラムの実施等について御提案がありました。

交流機能については、YCAM と連携した企業向けの運動会コンテンツの展開や、ドローンの競技会、夏休み限定の家族向けお化け屋敷や迷路の設置など、観光以外の切り口で人を呼び込める催しについて多様な御提案をいただきました。

また、温泉神社等の施設のシンボルの必要性についても御意見をいただきました。

さらに、温泉熱を活用した発電を行い、からくり時計の稼働等に活用することで、温泉熱の見える化ができ、視察目的での訪問、宿泊需要を喚起できるといった御意見もいただきました。

#### 《D社》施設運営への関心:あり

本事業者からは、建物に予算をかけず、多様なイベントの開催が可能となるよう設備を充実させた施設整備について御提案をいただきました。

具体的には、屋外イベントの開催に対応できる電源設備や水道設備の設置や、イベントステージの設置、イベント資材の保管倉庫の設置の検討について御提案をいただきました。

イベントのアイデアとして、スクリーンを活用した映画観賞会やパブリックビューイングの開催、餅まき、ギネス挑戦イベント等の御提案がありました。

また、敷地内にキッチンカーが乗り入れることができる設えとすることや、大屋根広場は子どもがバスケットボール等で遊べる程度の仕上げとすること、施設屋上の活用、泉源が見えるような仕掛けづくりについても御提案をいただきました。

また、施設の平日の利用として、料金次第では、PTA などの小規模な会議の会議室としての需要があると考えられるといった御意見をいただきました。